

事業報告

社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会は、熊谷市の中核的民間福祉団体として、地域福祉の推進を図るため、県、市をはじめ関係機関、団体と密接な連携のもと、各種事業を実施した。

その概要は、次のとおりであった。

1 理事会及び評議員会の開催

(1) 令和元年5月31日(金) めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し、下記の議案を審議するとともに、令和元年5月21日(火)に実施された監査の報告が監事から行われた。

○議案第1号 平成30年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告について

○議案第2号 平成30年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会決算について

○議案第3号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会理事の選任について

○議案第4号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会監事の選任について

○議案第5号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任及び解任について

○議案第6号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員の選任及び解任の提案について

○議案第7号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について

○議案第8号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会定時評議員会の招集について

○その他 社会福祉充実計画について報告(策定の必要なし)

今後の会議・行事日程について

以上8件について、それぞれ承認された。

(2) 令和元年6月17日(月) めぬま農業研修センターにおいて評議員会を開催し、下記の議案を審議するとともに、令和元年5月21日(火)に実施された監査の報告が監事から行われた。

○議案第1号 平成30年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告について

○議案第2号 平成30年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会決算について

○議案第3号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会理事の選任について

○議案第4号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会監事の選任について

○その他 社会福祉充実計画について報告（策定の必要なし）
今後の会議・行事日程について

以上4件について、それぞれ承認された。

(3) 令和元年6月18日(火)めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し、下記の議案を審議した。

○議案第9号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会会長の選任について（松永勲理事）

○議案第10号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会副会長の選任について
（福嶋良三理事、岡部宣明理事、寺田治子理事）

○議案第11号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会常務理事の選任について
（小林常男理事）

○その他 今後の会議・行事日程について

以上3件について、それぞれ承認された。

(4) 令和元年9月11日(水)めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し下記の議案を審議した。

○報告事項

・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

○議案第12号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員の選任及び解任の提案について

○議案第13号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について

○その他 今後の会議・行事日程について

以上2件について、それぞれ承認された。

(5) 令和2年3月19日(木)めぬま農業研修センターにおいて理事会を開催し、下記の議案を審議した。

○報告事項

・遺贈の受入れについて

・会長及び常務理事の職務執行状況の報告について

・老人福祉センターの臨時休館に伴う営業補償について

○議案第14号 令和元年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会1次補正予算について

○議案第15号 令和2年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業計画について

○議案第16号 令和2年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会予算について

- 議案第17号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員会の招集について
 - 議案第18号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員の選任及び解任の提案について
 - 議案第19号 社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
 - その他 今後の会議・行事日程について
- 以上6件について、それぞれ承認された。

(6) 令和2年3月30日(月)めぬま農業研修センターにおいて評議員会を開催し、下記の議案を審議した。

○報告事項

- ・遺贈の受入れについて
- ・老人福祉センターの臨時休館に伴う営業補償について

○議案第14号 令和元年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会1次補正予算について

○議案第15号 令和2年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業計画について

○議案第16号 令和2年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会予算について

○その他 今後の会議・行事日程について

以上3件について、それぞれ承認された。

2 評議員選任・解任委員会の開催

下記のとおり評議員選任・解任委員会を開催し、理事会から提案された選出団体からの推薦等に基づく議案を審議した。

- (1) 令和元年6月5日(水)熊谷市妻沼行政センター
- (2) 令和元年9月18日(水)熊谷市妻沼行政センター
- (3) 令和2年3月27日(金)熊谷市妻沼行政センター

3 監事監査の実施

令和元年5月21日(火)熊谷市妻沼行政センターにおいて、平成30年度社会福祉法人熊谷市社会福祉協議会事業報告並びに決算について監事監査を行った。

4 資金貸付に関する事業

(1) 熊谷市福祉資金の貸付け及び償還

低所得世帯で臨時的出費又は収入欠如等のため生活を脅かされ、又はその恐れがあり、生活維持のために、応急的な資金を必要とする世帯を対象とし、生活の安定と自立の助長を図ることを目的として貸付けを行った。

ア 借入相談件数	193件	(電話相談等含む)
イ 貸付件数	40件	
ウ 貸付金額	1,512,000円	
エ 償還件数	174件	
オ 償還金額	1,887,300円	

(2) 熊谷市善意銀行

・預託状況 (預託金)	0件		
(指定寄付金)	0件		0円
(償還金)	89件		735,200円
(物品) 食糧品等	5件		
・払出状況 (貸付金)	86件		742,200円
(社会福祉施設・団体等へ配分)	0件		0円
(物品)	0件		

(3) 生活福祉資金貸付事業 (県社協)

・生活福祉資金			
福祉資金(緊急小口資金)	3件	貸付金額	270,000円
教育支援資金	1件	貸付金額	823,000円
緊急小口資金(特例貸付)	1件	貸付金額	100,000円
総合支援資金(特例貸付)	0件	貸付金額	0円

5 児童福祉に関する事業

(1) 社会福祉協力校

社会福祉協力校として市内高等学校(3校)、市内小(28校)・中学校(13校)、保育園(21園)・保育所(12所)、幼稚園(2園)、認定こども園(1園)を指定し、社会福祉に対する理解を深めるための各種事業を行い、教育の場を通して児童、生徒が互いの人格を尊重し、助け合い、はぐくみあう福祉の心を育てる実践活動が行われた。

(4) 単身高齢者の近隣見守り協力員事業として、協力員に記念品を贈呈した。

協力員数 1, 219人

(5) ふれあいいいききサロンを実施 実施回数1, 031回 参加人数20, 316人

(6) うちわ祭観覧事業 (ウェルフェア・エリア設置事業)

うちわ祭を市内の高齢者施設の方々に観覧いただくための場を設けた。

参加施設 7施設 (招待者 35名、職員 34名)

ボランティア 57名 (ボランティア連絡会51名、親子ボランティア6名)

(7) ふれあい弁当サービス事業

在宅の単身又は日中独居の高齢者に対して、見守り活動の一環として健康維持と孤独感の解消等を図ること目的に実施した。

合計：延べ利用者数・弁当数 3, 947人・食 実施回数 129回

ふれあい会食会 3回

7 在宅福祉推進事業

(1) 紙おむつ給付事業

在宅で生活する介護保険の要介護度4又は5の認定者や身体障害者手帳1級又は2級の障がい児(者)などで紙おむつを必要とする者に紙おむつを給付した。

・延べ利用者数 5, 504人

(2) 家事援助サービス事業

高齢者・障がい者・父子・母子家庭の福祉を増進するため、くまがや在宅福祉家事援助サービス事業の推進を図った。

・協力員 4人 ・延べ利用者 108人

・延べ件数 400件 ・延べ利用時間 461時間

(3) 移送サービス事業

ねたきりの高齢者・障がい者等の福祉の増進と、在宅福祉移送サービス事業(リフト付自動車等の管理運行)の利用拡大を図った。

・利用回数 44回

(4) 地域ネットワーク友愛事業

障がい者及び65歳以上の単身高齢者で希望される方に、民生委員・児童委員とボランティアが協働して安否確認や生活上の孤立感の解消や地域の輪を築いた。

ア 友愛訪問 92人 682回

友愛訪問交流会（友愛訪問を受けている単身高齢者、障がい者とボランティア「友愛訪問グループ」とのつどい）の開催

6月18日（火）参加者 105人（ボランティア他含む）会場：上之荘

イ 友愛電話 201人 3,118回

友愛電話交流会（友愛電話を受けている単身高齢者、障がい者とボランティア相談員とのつどい）の開催

11月12日（火）参加者 130人（ボランティア他含む）会場：上之荘

ウ 友愛通信 1,109人 2,162通

寒中見舞い・暑中見舞いハガキを送付した。

(5) 彩の国あんしんセーフティーネット事業

市内の社会福祉法人と連携して、失業・虐待・けがや病気などが原因で生活に困っている人たちに寄り添って、訪問・相談を通じて必要な制度につなぐ活動を実施した。また、フードバンク品を活用した食糧支援を実施した。

相談件数 3件 支援件数 3件 訪問回数 3回

8 社会奉仕活動に関する事業

ボランティアセンター活動事業として、次の事業を実施した。

(1) ボランティアに関する相談、登録及びあっせん事業

月曜日～金曜日（祝日を除く。） 午前9時～午後4時

ア 要請・相談 150件

イ 派遣 111件 492人

ウ 登録個人 109人 累計398人

エ 登録団体 ・ボランティア連絡会 32団体 1,045人

・レクリエーションボランティア 107団体 833人

オ 災害ボランティア登録個人 120人

カ 災害ボランティア登録団体 2団体

(熊谷市赤十字奉仕団、熊谷市ボランティア連絡会)

キ 台風15号(房総半島台風)災害ボランティアセンター運営支援(千葉県君津市)
9日間2人

ク 台風19号(令和元年東日本台風)災害ボランティアセンター運営支援(東松山市)
6日間2人

ケ 台風19号(令和元年東日本台風)災害ボランティア派遣(東松山市)
8日間延べ30人

(2) 夏のボランティア体験事業

市民が気軽に参加できるように市内の施設、団体の協力を得て夏のボランティア体験事業を実施した。

- ・期間 7月21日(日)～8月26日(月)37日間
- ・会場 市内の福祉施設92施設(保育所、保育園、学童クラブ、児童養護施設、高齢者施設及び障がい者施設)
- ・内容 ボランティアに関する講座と福祉の体験学習
プログラムメニュー数 101メニュー
- ・参加者実数 1,083人(延べ1,723人)

(3) 各種ボランティア講座事業

各種ボランティア講座を実施し、ボランティアの質の向上に努めるとともに、ボランティアの発掘、育成を図った。

ア	ガイドヘルプ養成講座	1回	延べ参加者	14人
イ	秋の2大子育て講座	2回	延べ参加者	80人
ウ	傾聴ボランティア入門講座	1回	延べ参加者	39人
エ	傾聴ボランティア中級講座	1回	延べ参加者	40人

(4) 福祉体験教室

市内の小・中学校・事業所等の依頼を受けて、福祉体験教室を実施した。(アイマスク体験、車いす体験、高齢者擬似体験、障がい者講演)

小学校9校 中学校2校 高校0校 事業所等2件

(5) 福祉バザーの開催

令和元年10月26日(土)午前10時から熊谷スポーツ文化公園内東第2多目的広場

で実施した「熊谷ふれあい広場」において、熊谷市民生委員児童委員協議会のご協力をいただき福祉バザーを開催し、1,190点を販売し、売上金額247,985円は社会福祉事業費へ繰り入れた。

(6) その他

ボランティアセンターに活動登録しているボランティアグループへの活動支援

9 介護保険事業

- ・介護支援計画作成件数 2,542件 (うち予防居宅介護支援 319件)
- ・訪問調査件数 77件
- ・訪問介護事業利用者数 延べ 4,426人 (うち総合事業 延べ 1,641人)
- ・通所介護事業利用者数 延べ 3,291人 (うち総合事業 延べ 227人)

10 障がい福祉サービス事業

身体、知的、精神障害者又は障がい児が、居宅において日常生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣し、身体介護、家事援助等のサービスを提供した。

また、屋外での移動困難な視覚障害者の方に、外出するための支援を行うためガイドヘルパーを派遣した。

- ・居宅介護利用者 延べ 2,769人
- ・同行援護利用者 延べ 175人
- ・重度訪問介護利用者 延べ 4人

11 公益事業

熊谷市成年後見センターを開設し、熊谷市成年後見事業運営委員会を次のとおり開催し、熊谷市の成年後見事業における市民後見人養成業務、相談受付業務、広報・啓発業務を行った。

(1) 平成31年4月23日(火)熊谷市立コミュニティセンター

- 委嘱状の交付
- 委員長の選出
- 熊谷市の成年後見センターについて
- 今後の予定について

○その他

以上3件についてそれぞれ協議を行った。

(2) 令和元年8月27日(火) 熊谷市立コミュニティセンター

○成年後見センターの状況について(報告)

○市民後見人養成講座(基礎課程)について(報告)

○受任候補者について

○成年後見セミナーについて

以上4件についてそれぞれ報告及び協議を行った。

(3) 令和元年11月26日(火) 熊谷市立コミュニティセンター

○成年後見センターの状況について

○市民後見人養成講座(基礎課程)第一回について

○成年後見セミナーについて

○法人後見進捗状況について

○その他

以上5件についてそれぞれ報告を行った。

(4) 令和2年2月18日(火) 熊谷市立コミュニティセンター

○成年後見センターの運営状況について

○市民後見人養成講座について

○成年後見セミナーについて 令和2年2月1日(土) 大里生涯学習センターにて、「お笑い芸人と学ぶ成年後見セミナー」を開催

○法人後見進捗状況について 受任案件(後見類型) 1件

○その他

以上5件についてそれぞれ報告を行った。

12 収益事業

葬斎施設の利用者への利便を図るため、葬斎施設内の売店運営事業を実施し、収益金は社会福祉事業費へ繰り入れた。

13 熊谷市からの受託事業

熊谷市立コミュニティセンター、老人福祉センター（別府荘、上之荘、ひかわ荘、江南荘）、箱田高齢者・児童ふれあいセンターの管理業務を熊谷市から指定管理者として指定され、その利用拡大を図るとともに、手話通訳派遣事業等を熊谷市から受託し、地域福祉の増進に努めた。

(1) 熊谷市立コミュニティセンター

・団体利用者	9,576人
・その他利用者	7,612人
計	17,188人

(2) 老人福祉センター別府荘

・77歳以上利用者	15,784人
・その他利用者	9,478人
計	25,262人

(3) 老人福祉センター上之荘

・77歳以上利用者	13,334人
・その他利用者	6,742人
計	20,076人

(4) 老人福祉センターひかわ荘

・77歳以上利用者	17,022人
・その他利用者	13,005人
計	30,027人

(5) 老人福祉センター江南荘

・77歳以上利用者	15,783人
・その他利用者	14,917人
計	30,700人

(6) 箱田高齢者・児童ふれあいセンター

・老人憩の家 団体利用者 1,093回	15,313人
・児童館利用者	3,103人
・学童クラブ利用者	6,099人
計	24,515人

(7) 手話通訳派遣事業

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、手話通訳者を派遣することにより聴覚障がい者等の福祉の増進を図った。

- ・手話通訳登録人数 16人 (専任、常勤1人含む)
- ・延べ手話通訳派遣件数 934件 (市内851件、市外83件)
- ・延べ手話通訳者派遣人数 1,036人

(8) 熊谷ふれあい広場

障がい者団体と市民の交流を目的に第30回「熊谷ふれあい広場」を令和元年10月26日(土)、熊谷スポーツ文化公園内東第2多目的広場で開催した。

参加団体 福祉施設35団体、アトラクション4団体、レクリエーション3団体
参加者 約 2,000人

(9) ファミリー・サポート・センター事業

「子育ての支援を受けたい」、「子育てのお手伝いができる」という人たちが会員になって、一時的な育児の援助活動を有料で行う会員組織を設置した。

- ・会員登録 (令和2年3月末現在)
(依頼) 598人 (援助) 105人 (両方) 41人
- ・援助件数 1,643件 1,635時間
- ・講座の開催 5回

(10) 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者(児)の方に、外出のための支援を行うためガイドヘルパーを派遣した。

- ・外出支援利用者 延べ103人

14 大里広域市町村圏組合からの受託事業

地域支援事業(生活支援コーディネーター設置業務)の実施

住み慣れた地域で生きがいを持って在宅での生活を継続していくために必要となる多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支援体制の充実・強化を図った。

- ・地域ケア会議への参加 48回

- ・第1回熊谷市生活支援体制整備協議会への参加 4回
- ・生活支援コーディネーター定例会 10回
- ・高齢者居場所づくり（サロン他）への参加 28か所
- ・高齢者居場所づくりサロン等の立上げ相談 6件
- ・研修、視察への参加 13回
- ・情報交換会及び勉強会 13回
- ・熊谷市自立支援型ケア会議 6回

15 福祉サービス利用援助事業

埼玉県社会福祉協議会と委託契約を締結し、判断能力の不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方で、一人で生活するには不安のある方が安心して生活できるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用料の支払いや日常的金銭管理等について援助した。

契約件数 32件（令和2年3月末現在）

16 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金

前年度の募金実績に基づき、埼玉県共同募金会から配分金を受け、各種事業を展開した。

元年度配分金 10,927,000円

敬老ポスターコンクール事業、ふれあいいいききサロン・子育てサロン助成事業、地域ネットワーク友愛事業、敬老修繕サービス事業、社会福祉協力校指定事業、地区社協活動費助成事業、地域福祉活動推進事業補助金、ボランティア団体地域福祉活動費助成事業等

(2) 地域歳末たすけあい募金

当年度の募金実績に基づき、埼玉県共同募金会から配分金を受け、各種事業を展開した。

元年度配分金 7,021,185円

地区社協歳末福祉活動費助成事業、単身高齢者近隣見守り協力員報奨事業、歳末慰問金交付事業、歳末ホームクリーニングサービス事業、児童養護施設入所児童中学校卒業祝金支給事業、災害備品の整備等

17 会員会費

市民、福祉関係団体、企業等から社協が行う地域福祉活動の財源となる会員会費の募集を

行った。

・一般会員（1口 300円）	13,470,718円
・賛助会員（1口1,000円）	88,000円
・特別会員（1口5,000円）	1,280,000円
合 計	14,838,718円

18 広報誌の発行等

- (1) 「社協だより」を、年4回（4月、7月、10月、1月）発行し、市内全戸及び関係機関・団体等に配布し、社会福祉協議会の事業等について市民の理解を深め、民間福祉事業の増進を図った。
- (2) 社協を紹介するパンフレットを作成し、社協の役割や事業についての啓発を行った。
- (3) ホームページに、各種事業活動の募集・実施報告等を掲載し、社協への理解を深める一助としたほか、各種申請書等の様式を掲載の上、活用しやすいものとした。